様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 15 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	環境保全推進事業	コード	71201

2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	作成者	高橋　克実

3 事業概要				
目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
	政　策	環境保全の推進	施　策	地球環境対策の推進
	予算科目	環境保全推進事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	なし		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		岡谷市の望ましい環境像「あふれる緑と清らかな水につつまれたまち」の実現のため、環境保全を推進するための施策を展開する。
目的	対象者	市民
	意　図	岡谷市の恵まれた豊かな自然を将来にわたって育んでいく。

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

○環境基本計画の推進
- 第３次岡谷市環境基本計画を推進するため、環境基本計画における重点目標や事業者、市民、行政が行うことなど具体的な取組を広報おかやに掲載し、啓発を行った。
- 太陽熱、地中熱の利用設備設置に対する補助と、雨水貯留施設の設置に対する補助を実施した。
- 環境保全（緑のカーテン事業、おかや一斉気温測定、我が家の省エネ自慢（環境家計簿）、ノーマイカー通勤デー、環境活動エコポイント事業）の推進を図った。
- ９月１７日（土）に、ララおかや及びテクノプラザにおいて、４６団体、２，２００人の参加を得て、エコフェスティバル２０１６を開催した。

前年度の課題への対応	・エコフェスティバル２０１５に引き続き会場をララおかや及びテクノプラザで開催した。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	環境基本計画推進のための新聞・広報おかや掲載回数			単位	回
実績値	12	12	12		
＊指標の説明	毎月（１２ヶ月）				
② 成果指標（指標名）	環境基本計画推進のための新聞・広報おかや掲載回数			単位	回
目標値	12	12	12	12	
実績値	12	12	12		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
＊指標の説明	1回×12ヶ月（21年度～広報のみ）				
＊目標値の設定方法の説明	新聞･広報おかやへ掲載し情報提供した回数				

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	9,320,715	3,519,986	2,710,263	4,607,000
経常経費	7,573,824	1,830,695	1,927,199	2,298,000
臨時的経費	1,746,891	1,689,291	783,064	2,309,000
＊臨時的経費の説明	〈H25〉臨時職員の持ち替え〈H26〉環境基本計画策定事業の増、補助金の対象期間の見直しによる減			

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数（人）		1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト（①＋②）		17,320,715	11,519,986	10,710,263	12,607,000
前年度比			66.5%	93.0%	117.7%
財源内訳	一般財源	17,320,715	11,519,986	10,710,263	12,607,000
	特定財源	0	0	0	0
＊特定財源の説明					
④ 活動一単位あたりコスト		1,297,819	819,225	827,267	
前年度比			63.1%	101.0%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
長野県環境保全協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	30,000	30,000	30,000	30,000
地球にやさしい暮らし応援補助金	件数	101	0	0	0
	金額	4,410,000	0	0	0
環境市民会議おかや	件数	1	1	1	1
	金額	200,000	200,000	110,000	110,000
再生可能エネルギー活用補助金	件数		9	4	14
	金額		1,612,000	915,000	2,115,000
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	4,640,000	1,842,000	1,055,000	2,255,000
	割合	49.78%	52.33%	38.93%	48.95%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　妥当性　高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　有効性　高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　100.0%	1	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　100.0%	1	

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 今後、新たな再生可能エネルギーの利用促進をどのように図っていくか。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 今後の市内の状況を把握して行く。
改善開始時期	平成２８年４月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	A